

## コロナで就活厳しく

厚生労働省と文部科学省は17日、2021年3月卒業予定の大学生の就職内定率が10月1日時点で69・8%となり、前年の同じ時期より7・0%低下したと発表しました。新型コロナウイルスの感染拡大で厳しい就職活動を強いられ、10月時点では15年以来5年ぶりに70%を割り込みました。低下幅はリーマン・ショック後の09年調査(7・4%)に次ぐ過去2番目の大きさ。

10月時点の内定率は10年(57・6%)を底に上昇基調をたどってきたが、今年は「売り手市場」の就職環境が一変した形。新型コロナウイルスの影響などで業績が悪化した企業が採用を抑制していることに加え、感染予防で「多くの企業説明会が中止になり、大学側が十分に支援することができなかった」(厚労省)とみられます。

学部別に見ると、文系が7・5%低下の68・7%まで悪化した一方、理系は4・8%低下の74・5%にとどまりました。

大学以外では、短大生(女子)が13・5%低下の27・1%と大幅に悪化。新型コロナウイルスの感染拡大で、保育士志望者らの就職活動が遅れています。